館報 かわかみ
KAWAKAMI
2022
Vol.434
5-20

居倉御柱祭（建て御柱の様子）

奥山の大木里に下りて神となる～

5月3日、－4℃と冷たい早朝。澄み渡る快晴の中、居倉御柱祭里曳きが始まりました。

当日は感染対策万全に、たくさんの氏子の力で予定以上に順調な曳行から建て御柱まで無事に終了することができました。

6年ぶりの御柱祭を楽しみに帰省された家族や親戚たち。何よりも全国行動制限なしのGWとなり、友人や親戚との久しぶりの再会にいつも以上の歓喜が湧いている様子も垣間見られ、コロナ禍からの解放感さえ感じました。

CONTENTS

目次

1 御柱祭　居倉地区
2 御柱祭　秋山地区
3 御柱祭　居倉地区
4 新1年生　第一小学校
5 新1年生　第二小学校
6 団体名簿
7 副公民館長退任就任あいさつ
8 川上村の素顔
9 動物コンサート カラオケ教室発表会
10 ニューフェイス 居倉若妻会　花壇活動表彰
11 鰍の眼　動物バトンリレー
12 おたっしゃクラブ、ニジマス放流 公民館の動き・戸籍の窓口、一喜一憂

令和四年
壬寅 御柱祭

令和４年４月30日 秋山御柱祭

今回の御柱はコロナ感染症対策により、トラクターと消防団員のサポートで行いました。秋山集落内からは事前申し込みの参加者たちも、一緒に大綱を引きながら順調に諏訪神社まで曳行していきました。そして一番の難所、神社手前の坂からは、みんなの力を合わせ人力で引き上げ、無事に神社敷地内まで御柱を運びました。その後重機とワイヤーを使い、安全に建て御柱をお祀りできました。

今回の御柱、所々に桜が若干残っていたりと春の風情を楽しみながら、参加者たちは笑顔と歓声に包まれました。

参加者の声

地区の消防ラッパが消滅し、「参加できるチャンス！」とお祭り魂に火がつき、往年のOBたちを誘い「応援ラッパ隊」を結成！　週３回の集中練習によりメキメキ形になりました。当日は唇を腫らしながら、曳行の盛り上げ役になりました～♬♪

●ラッパ隊Ｈさん●

伐倒祭　３月12日

伐倒祭は、秋山地区の林亀美夫さん所有林の樹を切りました。杣人は林龍義、佐藤淳、小柏謙三郎、林祐二が行いました。

樹齢72年の「もみの木」。約13mに切り揃えられ、直径は60cm。外周205cmの柱が見事完成。

↓林亀美夫さん

綱打ち　３月27日

綱打ちは、まるそ農協の集荷場で行われました。諏訪から前回もお世話になった綱匠を招きご指導を受けながら、消防団員をメインに区と公民館が協力して行いました。

50本の細綱を3組結い合わせ、合計150本、外周46cm、長さ70mの立派な大綱が完成しました。

令和４年５月３日
居倉御柱祭

今回六十年に一度「壬寅（みずのえとら）」年の御柱祭
～永かった厳しい冬が終わり、新たな成長、始まりの年～

コロナ感染対策として、里曳き出発地点を従来より約 300m 手前に変更。村外からのパフォーマンスショーや婦人会・若妻会の舞や子どものダンスなどのイベントは実施せず。飲食も決められた休憩場所のみにしたりと、曳行に従事できました。

本年度の「一の御柱」は、例年以上に曳き応えのある大木。山出しでは曳行にかなり苦労し、里曳きを心配しましたが、里曳き当日はたくさんの氏子に外国人実習生たちも加わり、予定以上に順調に進みました。全路人力曳行ができて氏子たちは安堵しました。建て御柱まで無事に終了した御柱祭に、近年のコロナ禍も払拭させるくらい、氏子たちは歓喜に沸きました。

ヨイサー！

よいとーまーけ！

よいとーまーけ！

おねがいだぁ～!!

ヨーッ！

サッ！

サッ!!

サッ!!!

よいさー！

♪♪♪♬～

♪♪♪♬～

・一部トラクター曳行になるのは仕方ないと思っていましたが、結果的に全路人力での曳行で終えられたことがうれしかったです。
・思っていた以上に賑わい、活気付いた祭の雰囲気で、コロナで沈んだ気持ちを盛り立てられました。

●氏子●

参加者の声

伐倒祭　３月28日

伐倒祭は、小川口の秩父多摩甲斐国立公園にて行われました。杣人は遠藤修一、原幸宏、原光輝、吉木真一、赤堀博之、小原利文、遠藤寛、古原悠介、小原司。一の柱は樹齢 120 歳を数える立派なしらびそ。13mに切り揃えられ、直径は 85cm。二の柱は全長 9m、直径 54cm で同じくしらびそ。

綱打ち　３月30日

綱打ちは、居倉集荷場にて行われました。指導者を招かず地元住民の力だけで行うことを重視しており、これまでの経験や、前回の作業工程を記録したビデオで予習して臨んでいるそうです。組織の中に綱匠が位置づけられており、担当者が仕切っていました。必要な道具もすべて自前。

元気いっぱい いちねんせい

第一小学校

令和4年度 入学名簿

由井　実春
小池　琉愛
小金澤　颯希
今井　結捺
井澤　瑠意
中島　朔太郎
中島　和香
中島　総司
油井　悠真
由井　介
油井　勇人
井出　裕誠
由井　杏侑
今井　菜々莉
佐々木　うき
林　幸導
原　悠生
吉澤　将希
清水　玲華
林　煌大
日向　柊斗
渡邉　煌ノ助
渡邉　結衣
杉山　つむぎ
渡邉　央佳
（計25名）

「さあはじめよう　いちねんせい」

川上第一小学校　1年担任
南澤　なつみ

入学して学校生活が始まった2日目のこと、子どもたち25名は元気に登校し、「先生!!　おはようございます！」と、もうすでにはつらつとしたあいさつができていました。授業が始まると、「鉛筆はいつ持つの？」「筆箱はもう出す？」「運動着を着てみたよ。似合う？」（笑）と、次から次へと質問され、その意気込みとやる気に圧倒されるばかりでした。2時間目休みになり校庭へ出ていくと、上の学年と混じってサッカーをしていました。体の大きなお兄さんたちとも対等に、夢中で遊んでいて、もう仲良くなったのかと驚きました。

こんなにも物怖じすることなくどんどんと学校生活に取り組み、挑戦していく子どもたちです。人数が多いこともありますが、とても勢いとスピード感があります。「やってみたい!!」と、いつもまっすぐな目で担任を見てきます。私も、1年生の25名と同じで、どこから勉強を始めていこうかな、明日はどんな新しい日になるのかなと日々過ごしています。これからの1年間で、楽しい思い出がたくさん作れるといいなと、とても楽しみです。

笑顔がいっぱい いちねんせい

第二小学校

令和4年度 入学名簿

遠藤　明優
太田　蘭
髙見澤　一心
田口　瑛都
鶴田　青空
鶴田　昌也
林　緋志
林　里弥
原　叶大

（計9名）

「元気に　仲良く　どこまでも」

川上第二小学校　1年担任
櫻井　一誓

今年度、川上第二小学校に男子5名、女子4名の1年生が入学しました。私自身もこの川上の地に初めて赴任しました。1年生と初めて小学校に来たという意味では同じですが、毎日川上のことをたくさん教えてもらっています。

1年生のいいところは、元気がいいところです。国語のひらがなや算数の数のお勉強では、どの子も元気よく自分の発言をしています。遊ぶ時や体育の時も元気に体を動かしており、毎日の学校生活を元気に過ごしています。

4月は1年生にとっても初めてのことばかり。行事も多いですが、毎日学校生活を頑張っています。元気に、真剣に、勉強や活動に取り組む1年生を見ていると私も元気をもらうことができます。子どもたちが頑張っていることや挑戦しようとしていることを見守りながら、いいところはたくさん褒めていきたいと思います。

よろしくお願いいたします！

令和４年度公民館役員・公民館関係委員名簿

●川上村公民館　TEL 97-2000

館　長	長崎　治
副館長	井出　純一
副館長	赤堀　一成
主　事	油井美登里
主　事	中島　啓隆
体育部長	林　裕二
広報部長	井出　純一
教養部長	井出　純一
衛生部長	赤堀　一成
生活指導部長	佐原美香子

●スポーツ推進委員

委員長	原　光輝
副委員長	山中　篤
委　員	新海　厚
〃	高見澤雅彦
〃	小原　利文
〃	中島　貴志
〃	渡邉　紀久
〃	吉澤　郷志

●館報編集委員

委員長	林　一幸
委　員	小林　歩美
〃	林　智裕
〃	小原　由紀
〃	中嶋　俊樹
〃	田中弓美子

●川端下分館　TEL 99-2244

分館長	林　公夫
主　事	佐原　信之
体育部長	嶋崎　和彦
広報部長	林　雅人
教養部長	林　義浩
衛生部長	林　満
生活指導部長	佐原　範子

●秋山分館　TEL 99-2409

分館長	井出　武志
副分館長	林　寛
体育部長	井出　崇
広報部長	井出　弘規
教養部長	林　桂一
衛生部長	中島　航

●大深山分館　TEL 97-3851

分館長	菊池　光男
副分館長	日向　秀仁
主　事	日向　秀仁
体育部長	小金澤　巧
広報部長	井澤　亮
教養部長	原　清昌
衛生部長	井澤　亮
生活指導部長	原　清昌

●御所平分館　TEL 97-2528

分館長	由井　健
副分館長	由井　久成
主　事	中島　聡太
体育部長	新井　竜也
広報部長	由井　教仁
教養部長	井出　志穂
衛生部長	由井　保明
生活指導部長	中嶋　紀行

●梓山分館　TEL 99-2156

分館長	髙見澤美雄
主　事	井出　貴之
体育部長	風間　将志
広報部長	関　満也
教養部長	井上　靖彦
衛生部長	川上　達也
生活指導部長	関　広基

●居倉分館　TEL 99-2421

分館長	伊藤　勝敏
主　事	原　岳司
体育部長	赤堀　博之
広報部長	吉木　真一
教養部長	原　勇樹
衛生部長	赤堀　哲也
生活指導部長	赤堀　哲也

●原分館　TEL 97-2423

分館長	林　茂男
副分館長	市川　一男
主　事	新海　秀吉
体育部長	渡邉　和正
広報部長	新海　聡大
教養部長	新海　聡
衛生部長	中嶋　宏樹
生活指導部長	新海　智恵

●樋沢分館　TEL 97-3409

分館長	有坂　直之
副分館長	油井　栄治
主　事	油井　栄治
体育部長	吉澤　篤哉
広報部長	今井　秀敏
教養部長	吉澤　位夫
衛生部長	林　幸広
生活指導部長	吉澤　正久

令和４年度各種団体役員名簿

●老人クラブ

会　長	油井　往
副会長	藤原　紀昭
副会長	新海　善一
川端下	休会
梓　山	髙見澤郁生
秋　山	休会
居　倉	小原　竹美
大深山	藤原　紀昭
原	新海　善一
御所平	小林　一吉
樋　沢	油井　往

●婦人会

川端下	佐原　範子
梓　山	関　文恵
秋　山	林　久美
居　倉	赤堀　公子
大深山	藤原　薫
原	渡辺　洋子
御所平	新海いずみ
樋　沢	今井　仁子

●青年団

団　長	林　祐二
副団長	由井　良祐
副団長	田中　俊哉
事務局	中島　樹
川端下	林　雅人
梓　山	川上　真弥
秋　山	林　遼太郎
居　倉	遠藤　竜介
大深山	藤原　勇人
原	新海　聡大
御所平	由井　彩斗
樋　沢	油井　旭光

●交通安全協会

会　長	川上　真人
副会長	山中　拓二
副会長	井出裟久治
副会長	由井　善道
川端下	佐原将一郎
梓　山	佐野　忠男
秋　山	林　弘之
居　倉	赤堀　満
大深山	由井　久
原	渡邉　一成
御所平	由井　秀徳
樋　沢	吉澤　秀寿

●連合婦人会

会　長	佐原美香子
副会長	横森　直美
会　計	新津　秀佳
川端下	佐原美香子
梓　山	鶴田　昌代
秋　山	林　百合子
居　倉	新津　秀佳
大深山	横森　直美
原	由井　史子
御所平	井出　智代
樋　沢	油井　裕紀

●若妻会

会　長	原　奈尚
副会長	渡邉　遥
川端下	休会
梓　山	大林あゆみ
秋　山	井出奈生子
居　倉	伊藤　梨紗
大深山	篠原　未帆
原	渡邉　遥
御所平	由井　恵美
樋　沢	髙見澤沙友里

●行政連絡員

川端下	上田　弘
梓　山	小林　仁史
秋　山	川上　太水
居　倉	赤堀　恒行
大深山	由井　文
原	渡邉　篤
御所平	由井　直
樋　沢	林　幸広

●消防団

団　長	小林　公治
副団長	由井　宏
副団長	井出　祐晃
ラッパ長	油井　孝夫
川端下	佐原　健
梓　山	小林　徹
秋　山	太田　伸吾
居　倉	遠藤　誉仁
大深山	藤原　克好
原	新海　亮
御所平	由井　陽介
樋　沢	吉澤　郷志

副公民館長が代わりました

遠藤副館長お疲れ様でした
赤堀副館長よろしくお願いします

教育委員会だより

前 副公民館長
遠藤　博和

退任あいさつ

今から2年前に公民館副館長を拝命し、公民館について調べる機会がありました。公民館は今から76年前の昭和21年に当時の文部省からの通達により、設置が進められてきました。その設置理由のひとつに「お互いの交友を深める場所であること」という1文がありました。しかし、ここ2年間はコロナ禍ということで、その場が失われてしまいました。公民館活動の多くは中止となり、人と顔を合わせて交流する機会はめっきり減り、たまに会えば緊張してしまう場面さえありました。この数年、思うような活動ができていませんでしたが、その中でも今までとは違う方法で何かできたのではないかと思うこともありました。近年、若年層を中心に公民館への参加が減っています。交流の場と言えば、顔を合わせ、お互いを知ることからです。しかし、これが公民館活動への参加を妨げていたかもしれません。SNSやオンライン会議システムを活用し、気軽に公民館教室にも参加でき、インターネット上で公民館まつりを開催。そんなことも可能な時代となりました。これまで通りの対面での交流を図るとともに、新たな交流の場も併せて考えていく必要性を感じました。

私はこれで退任となりますが、これからの若い世代にひとつの課題として引き継いでいただければと思います。公民館がいつまでも人と人の交流の場であることを願い、退任のあいさつとさせていただきます。2年間ありがとうございました。

新 副公民館長
赤堀　一成

就任あいさつ

本年度より川上村公民館副館長に就任しました。皆様よろしくお願いいたします。

これまでの2年間は、新型コロナウイルス感染症により、生涯学習教室や公民館まつり、各種のスポーツ大会など、文化事業や体育事業をはじめ、さまざまな事業を縮小あるいは中止しなければならず、公民館活動も思うように進められないため、学習と発表の場が減っていると聞いております。

公民館活動は、住民が生活の中で気軽に集える貴重な交流の場です。そして、この活動を通して、地域の力が向上し、よりよい川上村の基礎が形成されていくことと思います。そのような公民館活動に対して、微力ではありますが、尽力していきたいと思います。

本年度もどのような状況になるか不透明ではありますが、今後の新型コロナウイルス感染症の状況に対応し、村民の皆様の意見や要望を聞き、分館役員の皆様方のご協力を得ながら、公民館事業を進めていきたいと思います。また、スポーツ推進委員会や館報編集委員会、学級運営委員会など、それぞれに精通している各委員の皆様のご協力を得ながらよりよい事業を進めていきたいと思います。

今後も、公民館活動にご協力いただけますようお願いいたします。

「地域の一員」になろう

とかち青空レディ
田所　優花　さん

川上村の素顔

第47回

プロフィール
1992年9月11日生まれ
群馬大学卒業
種苗メーカーへ就職
2020年　北海道本別町に定住
2021年　とかち青空レディに就任

私は川上村で生まれ育ち、現在は北海道の本別町というところに住んでいます。本別町は北海道に14ある振興局の中で一番面積が大きい「十勝総合振興局」に属する1市16町2村のうちのひとつです。

人口は6500人ほどで、農家の割合は約15%とのことです。気候は川上村とは比較的似ていると感じています。30℃を超える真夏日は、十勝の方が圧倒的に多いですが……

私が本別町へ至った経緯は、一言でいえば「仕事とプライベートの両立」です。発端は、新卒で勤めた種苗メーカーの同期の男性とお付き合いを始め「農家になりたい」と打ち明けられたことです。なりたいも何も、私は生まれたその瞬間から農家だったし、親元を離れ自立してもなお農業系の仕事に就き農家根性で生きていました。特に否定する理由もなく、むしろおもしろそうだと思ったので、2人に合う農業形態を真剣に話し合い前向きに模索しました。「北海道の十勝で畑作農家」に落ち着き、その条件で探した後に快く受け入れてくれた団体が本別町です。畑作農家は家族のみで従業員を雇わずとも経営ができると知り、大きな機械で豪快に作業するかっこよさも併せてとても魅力に感じました。

北海道の十勝を選んだのは、私が川上村に住んでいたことで、生産物に対する「ブランドの価値」をよく知っていたことも要因のひとつです。「川上村のレタス」といえば全国的にもとても有名で、消費も不安定になりがちな昨今にはとても重要なポイントとなるのではと思いました。

私の家は家族の仲がとても良く、頻繁に近況を伝えているので「川上村から離れた」という感覚はあまりありません。軸足はいつも川上村にあるような感覚でいます。

ただ、結婚や移住を経てしっかり農村地帯に腰を据えてから、気づいたことはたくさんあると思います。たとえば、もともと農家育ちなので農家に囲まれて生活することや、田舎育ちゆえに農村地帯の人との距離感や感覚に戸惑うことはほとんどありませんでした。どこもあまり変わらないのかなと思うことはあります。そんな交流も含め、まだまだ発見は多そうです。

移住してから意欲的に地域貢献も考えるようになりました。それまでは、北杜市・甲府市・前橋市・桐生市・北広島市・千葉市とたくさん住処を移しましたが、特に考えたことはありませんでした。きっと今までは「地域の一員」という意識が低かったのでしょうね。アラサーになって未来を担う子どもたちのことを思うようになりました。地域の農業を支えることや、観光を盛り上げることを目指して活動しています。

意識の芽生えは、人口の決して多くはない町の、人口の少ない集落に快く受け入れていただき、私が地域のひとりとして町の今後や人々に対してしっかり影響力があることを実感したことでしょうか。

2021年には「27代目とかち青空レディ」に任命され、十勝に住む人間としてまた一歩成長できました。

任期の1年間、十勝観光連盟に属する観光・物産の素晴らしさをPRするなどの活動を行いました。十勝管内では、各自治体主催による・祭事・イベント等にて補助業務に参加しました。北海道内では、各種キャンペーン活動や表敬訪問、ステージPR、テレビ・ラジオ出演等をしました。

また、全国各地を回って北海道物産展（百貨店等）にて観光・物産PR、表敬訪問など、幅広く活動しました。観光から農業をみると、また違った一面も知れたりなどして、今後の経営に活かせることも多くありそうです。

川上村ももちろん大好きな地元ですので、今は「おらちくる会」（川上村有志によるイベント開催等を行う団体）などを通して貢献できることも、とてもやりがいを感じています。

「地元にいなくても地元を盛り上げられる！」ということがもっと周知されたらいいなと思っています。

「川上村応援大使」なんてあったら即手をあげたいのにと思います（笑）。

ちなみに、諸々のバイタリティは母親譲りで、ただどんなに頑張っても追いつけないもどかしさを感じています。国内外問わず広い視野でアンテナを張り、自分にできることを考えてすぐ行動に移すところがかっこいいです！　母の背中を追いかけてもっともっと成長したいと燃えています。

本別町に腰を据えたことで、地域に入り込む自分の姿を客観視するようにもなり、川上村の両親や祖父母たち、姉弟や周囲の皆さんに囲まれて自由に元気に育ったからこそ今の私があると強く感じます。

川上村で育ったことは私の誇りです。引き続き本別町での生活を良いものとし、2つの町村のために恩返ししていきたいです。

みんなで楽しむ動物コンサート

3月21日、文化センターうぐいすホールにて「みんなで楽しむ動物コンサート」が開催されました。

「ぞうさん」「おつかいありさん」「やぎさんゆうびん」などを手がけた作曲家、團伊玖磨の童謡作品を中心に演奏するところから「みんなで楽しむ動物コンサート」の名前が付いています。

このコンサートは音楽事業を幅広く展開するプラネット・ワイによる企画で、2015年に軽井沢の大賀ホールから始まり、県内を中心に大阪や奈良など各地で開催されています。コンセプトを、開催地の音楽に携わる方々で作り上げるとしており、特にお子さんに発表の場を設け、音楽活動を応援することを目的としています。

今回は出演者の高橋由加利先生に師事した、井出萌絵香さん茉朋路さん姉妹が歌とピアノ演奏で、林永愛さん空愛さん姉妹がピアノ連弾で出演しました。川上村を代表する女性コーラスグループ、クールピアチェーレも歌声を披露しました。

本来は2月11日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止措置により延期しての開催でした。会場内は小さなお子さんが多くかけつけ、親子で楽しんでおられました。歌のコーナーでは、歌のお姉さん雨宮知子さんが手遊びを取り入れた童謡を披露。会場が一体となり、賑やかで楽しいコンサートとなりました。

♫ 出演者の感想

井出　萌絵香さん

延期後も開催可能か確定しない状況だったため、事前PRを村内の幅広い世代にたくさんできなかったことが残念でした。しかし、当日予想以上の方にご来場いただき、ステージ後、たくさんの拍手とお言葉をいただき、皆さんの温かさを感じました。

井出　茉朋路さん

程よい緊張感の中、落ち着いてピアノを演奏することができました。お客さんに楽しんでもらえてよかったです。

林　永愛さん

コロナの影響でピアノ教室の発表会が中止になってしまったので、このコンサートに参加できると先生に聞いた時は、うれしかったです。

妹と二人で合わせて弾くのも難しく、間違えもいっぱいあったけれど、いい経験になりました。たくさん練習したので本番は間違えずにできて、いろいろな人に「じょうずだったよ」と言ってもらえて、よかったです。

林　空愛さん

始まる前の練習で何回も間違えちゃったので、間違えないで弾けるかドキドキしたけれど、ちゃんと弾けてうれしかったです。

お友達が来てくれて緊張したけれど、楽しかったです。他のお姉さんたちの歌や、ピアノも聞けてよかったです。

カラオケ教室発表会

歌声響け！

公民館生涯学習教室のひとつである「川上村カラオケ教室」の発表会が、4月3日川上村文化センターで開催されました。

佐久市より篠原芳治さんを講師にお迎えして、冬期間練習に励んできました。ソーシャルディスタンスを保ち、歌う時以外はマスクを着用し、アルコール消毒等感染予防対策を徹底し行われました。川上村文化センターの音響機器が新調され初使用ということもあり、抜群の音響効果に驚きながらの発表会となりました。

会のモットーは「声を出して元気になろう」と「みんなが一緒に歌ってコミュニケーションを図り、認知予防も兼ねて交流を深めよう」です。教室生は20名、60代から80代までで最高齢者は89歳です。皆さん元気に熱唱されました。

コロナ禍でたくさんのことが制約されていますが、この状況が一日も早く解消され平穏な日々が待ち遠しいですね。

♫ 出演者の声

・今日は1年の集大成だから発表できてよかったよ。

・私は歌うのが大好き。ストレス解消にもなるわ。

・家の中にいるより皆さんと交流する方が楽しいよ。

・手術をして一時期声が出なくなって切ない思いもしたけれど、仲間に誘われてまた歌い始めたら次第に声が出るようになって、身体も元気になったように思えた。歌うことは健康につながると思う。

・みんなで歌うことが一番楽しいよね。若さの秘訣だと思うわ。

川上村の赤ちゃん New Face ニューフェイス

令和4年 2月～3月 生まれの赤ちゃんをご紹介

すくすく元気いっぱいな赤ちゃんをご紹介!!

よろしくおねがいします!

原　第２子

岩水　花（はな）ちゃん

３月 15 日

（両親：大門、愛観）

パパ、ママから一言

お兄ちゃんと一緒であわてんぼう!!
花のように愛らしく優しい子に育ってほしいと思います♬

お兄ちゃんに可愛がられてスクスク育っています

川端下　第２子

井出　瑞稀（みずき）ちゃん

２月 20 日

（両親：達志、比呂子）

パパ、ママから一言

思いやりのある元気で優しい子に!!
そしてたくさんの幸運に恵まれることを願って名付けました⁂⁂

居倉若妻会 花壇整備活動

居倉地区小川橋東側にある花壇が毎年華やかに彩られます。居倉若妻会が行うこの花壇整備活動により、道路や河川の愛護に長年努めたと、「道路河川愛護活動知事表彰」を３月23日に受賞いたしました。

各年若妻会員にて花壇のデザイン考案、種の買い付けから苗の育成、定植、草取りなどの活動を、また、土壌作成やマルチ張りなどは、若妻会役員の旦那様などの力を借り、皆の協力のもとで毎年きれいな花壇が作り上げられています。『農地を守る会』の対象事業になっているこの活動は、20年越しにもなります。

悪天候などにより、定植や草取りなどの活動が計画通りにいかず、常に美しい花壇を保つことは大変ではあります。乳幼児を抱える会員が多く、子どもへの安全を考慮しつつ、皆で協力して作業を行ってきました。花が咲き出す頃「今年もきれいね」と言ってもらえるのは、若妻会員にとってやりがいにもなっています。

〈受賞しての感想〉

（２０２１年度若妻会長　伊藤佳代さん）

諸先輩方から長年続けてきたことが評価されたようです。これからも畑仕事の合間の癒しとなるこの活動の継続を楽しみにしています。

カジカ
鰍の眼

レタスとコロナと恐ロシア……

グ・レタス君

令和元年に中国の武漢よりコロナが出たとされる。未知のウイルスということで、世界中にたちまち大パニックを巻き起こした。

ロックダウン、隔離、行動におびただしい制限が課せられることになった。国によっては何十万、何百万人にも及ぶ被害者が出ている。いくらか落ち着きを取り戻そうとしたところに、ロシアによる不条理なウクライナへの侵攻。今世紀に入ってまさかの事態である。SNSやその他の報道で目を覆うような惨劇が日々映し出されている。人間の尊厳、命等が虫けらのごとく簡単に蹂躙されつくされている。やはりロシアは「おそロシア」である。ロシア全体がというよりも、共産主義のプーチンなのだが……。話し合いによる解決は理想なのだが現実には軍事力による均衡でしか戦いを止める手立てはないような気がする。

コロナの対策では、蛇口を閉めるのが遅く、開くのが遅いと揶揄される日本政府の方針だが、決断力を求められる政治なのに、実状では検討を検討するとかいうおかしな状態である。聴く力を発揮しすぎて、ブレーキとアクセルを同時に踏んでいるような状態である。何かを決断して実行すれば、必ず批判や反対の意見が出る。その中でもよりよい方向に決断していかなければいけないのだが……（言うは易く行うは難しなのだが）

そんな周りの状況を見れば、今の私たちはなんて幸せなのだろう。これからの農業にはさまざまな難題が課せられるだろうが、野菜を作って生きていられる。川上の高原野菜が始まって60年余。先人たちの苦労の結晶が今の私たちに大きな恩恵を与えてくれている。農業の方向も大きく変わっていくことになるだろうが、希望を持って工夫をして頑張っていくしかないのである。精神論だけでは腹はいっぱいにならないのだが、それでも、たくさんの人々に安全で安心な国産の野菜を届けられることに誇りを持ちながら、野菜を作っていきましょう。ファイト!!

♪ファイト！　戦う君の唄を
闘わない奴等が笑うだろう
ファイト冷たい水の中を
ふるえながらのぼってゆけ
ファイト！　by中島みゆき

動物バトンリレー

中嶋賢二さん　宅（原）

■　姫　５歳メス　（マルチーズ）

2017年4月に我が家の娘になりました。お散歩が大好きです。
よく吠えるので一見恐ろしい娘に見えますが、人が大好きで元気な女の子です♥
我が家の大切な家族です。

◀おてんば娘は、お散歩がお好き

川上村公民館報
第434号
令和4年5月20日

社団法人川上村社会福祉協議会「おたつしゃクラブ」の皆さんから今年も三校卒業生と卒園児全員に「手作りのカーネーション」が贈られました。この事業は川上村地域包括支援センターの発案により2016年から毎年行われています。

「おたつしゃクラブ」は2015年にヘルシーパークかわかみの一角にオープンしました。元気なお年寄りが集まって盛りだくさんの趣味活動を日々、自分で決めて楽しみながら過ごしています。近頃の活動は刺し子、パッチワーク、編み物、花籠、料理、フクロウの置物、さるぼぼの吊るし飾り、手縫いと手編みの食器洗い、唄、カラオケ、クロスワード、古新聞を利用した物入れ作り等です。すべて手作りで同じ物はありません。世界で一つだけの自慢の品です。

小中学校の卒業式と川上保育園の卒園式に向け、約4カ月かけて、毛糸で編んだ赤いカーネーションを100本仕上げました。コロナ禍で例年のように一人一人に手渡しすることができませんでしたが、心のこもったお祝いの花を手にした子どもたちは、とても嬉しそうで良い記念品になったようです。「おたつしゃクラブ」の皆さんありがとうございました。どうぞこれからも益々ご活躍されますことを願っています。

結びに「こんなものが欲しい」「こういう物を作ってほしい」等ご意見、ご要望がありましたら事務局までご連絡ください。

こどもの日の5月5日に、ニジマス釣り・魚のつかみ取り大会が、南部漁業共同組合により行われました。昨年までは8月に梓湖で行われていましたが、今年からは御所平男橋上流で開催されることになりました。

会場近くの男橋は、令和元年の東日本台風により被災し、今年10月の完成に向け復旧工事が行われています。今回は、施工業者である黒沢組とライアンが協賛してくださいました。

放流されたニジマスは250キログラム。村内外から大勢の参加があり、魚取りを楽しむ釣り人や子どもたちで終日賑わいました。

公民館の動き

3月31日 ゲートボール連盟総会
4月8日 公民館総合役員会
4月15日 館報編集委員会

戸籍の窓口

三月一日～四月三十日受付

お誕生おめでとうございます

岩水 花（はな） 大門
中島 苺香（もか） 愛観
芳康
裕美

ご結婚おめでとうございます 末永くお幸せに

新海 太智 原
小須田 果歩 佐久穂町

お悔やみ申し上げます

由井 武征 御所平七九歳
井出 文人 原 六四歳
関 松の 梓山 六四歳
小原 六蔵 居倉 九五歳
渡邉とらせ 原 九五歳
関 登 梓山 八六歳
木村 敬 秋山 九一歳
井出 智子 秋山 八四歳

※この欄は川上村に住民登録されている方を掲載しています。

一喜一憂

物価の高騰に歯止めがかかりません。円安・ウクライナ情勢の影響を肌で感じている人は多いでしょう。

皆さんはどのような商品に一番物価の高騰を感じていますか。私はガソリンです。ガソリン価格の高騰は家計の大きな負担となっています。

私は2月から居倉の新婚住宅で新生活をスタートしました。今まで実家にお世話になっていた分、生活費の重みを日々感じています。できるだけ自動車を使う頻度を減らし、甲府や佐久に出掛けた際にガソリンを入れるように心掛けています。昨年の同時期に比べて、一回の給油金額が約千円上がっていることにも驚きです。経済を優先して、お金を使うべきという考え方もありますが、今はまだ我慢の時だと思います。

今後も物価の高騰が収まることは考えにくいので、節約術を駆使してこの苦境を乗り切ろうと思います。

最後にウクライナ情勢が一刻も早く落ち着くことを切に願うばかりです。

T

【村 勢】

総面積	209.61km²	総人口	3,609人
		男	1,864人
世帯数	1,192戸	女	1,745人

（4月30日現在）

川上村公民館報
編集人 館報編集委員会
発行人 長崎 治
川上村公民館発行
〒384-1405 長野県南佐久郡川上村
電話 0267（97）2000
株式会社コックス・印刷